

記録

フィルム
カラー／36分
日・英語版

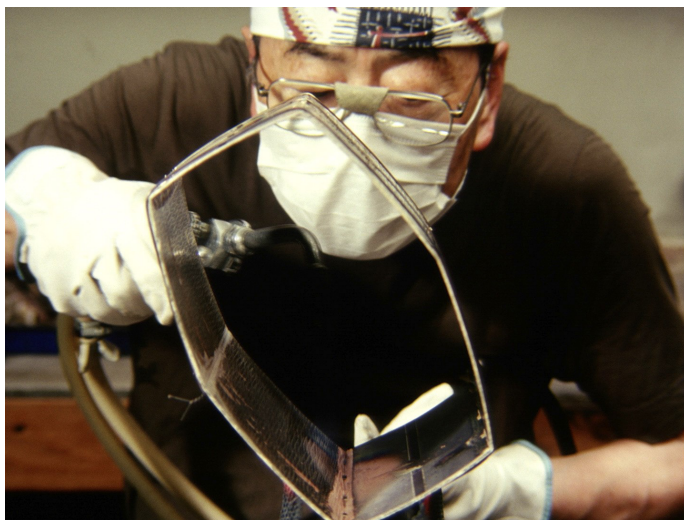
- 企画
文化庁
- 協力
山口県立萩美術館・
浦上記念館
光市文化センター
MOA美術館

スタッフ

- 製作
山本孝行
- 脚本・演出
土井康一
- 脚本協力
村山正実
- 演出助手
花崎 陽
- 撮影
山屋恵司
- 撮影助手
藤原千史 今野聖輝
- 照明
佐藤大和
- 照明助手
野本敏郎
- 録音
荒井富保
- 効果
帆刈幸雄
- タイトル
津田輝王 関口里織
- タイミング
井上大助
- 編集
石井香奈江
- ネガ編集
幸地甫之
- 音楽
佃 良次郎
- 録音スタジオ
アオイスタジオ
- 現像
IMAGICA
- ナレーター
鳥居麻弥

文部科学省特選 2017年教育映像祭優秀作品賞
映文連アワード2017ソーシャル・コミュニケーション部門優秀賞

2014年（平成26年）に重要無形文化財「彫金（ちょうきん）」の保持者（人間国宝）に認定された山本晃（やまもとあきら）。映画は、「切嵌象嵌接合せ箱（きりばめぞうがんはぎあわせばこ）『溪響（けいきょう）』」を制作する工程を通して、山本晃のわざを記録した。



山本晃が得意とする技法は、様々な色の金属片を蠟（ろう）付けによって貼り合わせることで、装飾文様を構成すると同時に、立体を造形していく切嵌象嵌（きりばめぞうがん）と接合せ（はぎあわせ）である。

切嵌象嵌は、金属板を装飾モチーフの形に切り抜き、そこに色彩が異なる紋金（もんがね）を嵌め込み、蠟（ろう）付けで固定する技法である。接合せとは、金属板を様々な形状に切り、蠟付けで繋ぎ合わせながら、立体的な器等を造形していく技法である。

山本は、身近な動植物や四季折々の風景などを主題とする緻密で華麗な作風を確立した。